



◇ 東京（47662）の気象観測地点露場の移設について

東京の露場は、平成 26 年 12 月 2 日これまで観測を実施していた大手町一丁目 4-3 の気象庁本庁舎敷地内の露場から西へ約 900m 移動した北の丸公園内に整備された露場へ移設されました。

これは、2007 年に国有財産の有効活用に関する検討・フォローアップ有識者会議報告に基づく気象庁本庁舎の港区虎ノ門への移転計画に伴い、現在の観測地（大手町）の周辺地域で、観測に適した周辺環境として将来的にも観測環境の維持が必要であることから北の丸公園が移設先として決定されました。露場が整備されて、2011 年から北の丸公園露場と大手町露場との比較観測が行われてきましたが、この度の露場移転となったものです。

比較データの評価・検証では、周辺の植生や建築物の状況など周辺環境の違いが影響し、同時比較観測の結果は大手町露場より北の丸公園露場の方が年平均気温は約 0.9℃低く、日最低気温は約 1.4℃低い結果となっていますが、同一地域の観測であり、気候的な特性は変わらないとされています。

移設した観測項目は、気温、相対湿度、気圧、降水量、積雪の深さなどで、風向風速、日射量は 2007 年から北の丸公園内の科学技術館の屋上で観測されています。



北の丸公園の新しい露場（観測施設）



(地理院地図を使用)